

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	CanDay赤塚教室			
○保護者評価実施期間	2025年12月1日 ～ 2025年12月15日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	46人	(回答者数)	32人
○従業者評価実施期間	2025年12月1日 ～ 2025年12月5日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数)	6人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年12月24日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別・集団、両方のプログラムがあること。 個別では個々に合わせた細かい支援、集団ではお友だちとの関わり方や他児との活動参加を経験できるよう取り組んでいる。	個々の様子や課題を職員間で共有できるよう話し合いの場を設けている。 特に集団での活動に関しては、月ごとに目標や配慮すべきことを話し合い、共通認識を持って取り組んでいる。	家庭ではなかなかできない経験をイベントや個別・集団療育を通して味わえるよう、プログラムの工夫をしていく。
2	担当の先生が毎回変わる(担当制ではない)ことで、色々な人と関わること。	日々、情報共有・定期的な話し合いをしている。	・個別支援を強化していく。 ・イベントを充実させ、年齢・特性問わず、楽しさを体験できるように考えていく。
3	職員と保護者の間に信頼関係が構築されている。	いつでも気軽に話せる雰囲気を作れるようにしている。 助言や面談を定期的に行っている。	職員の研修 傾聴を重視した態度を心がける。
	事業所の弱み（※）と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流の場がない。	保護者参加型イベントが少ない。	今年度は保護者が集まれる場が数回のみだったので、保護者間で交流ができるような環境を設けていきたい。
2	地域との交流の場がない。	事業所に遊びに来れる取り組みをしているが、認知度が低い。 外遊びの機会が少ない。	児童館等を通して地域との関わりの場を増やしていく。 SNSを利用し、どんなことをしている場所かを知ってもらえるよう取り組んでいく。
3	スペースに限りがあるので、活動の幅の制限ができてしまう。	広さ、トイレ等の数の確保が難しい。	設備の充実 活動の取り組み方の工夫